

顕現後第三主日 (2025年1月26日)

※礼拝中に起立の部分がありますが、お体の悪い方はご無理をなさらず、着席のままで結構です。

開会の部

前奏
 初めの歌 ♪190“主のみ名によりて”(1,2節) 式文1ページ
 み名による祝福～罪の告白～ゆるしの祈願
 詩編交読 詩編 19編

※別紙をご覧ください。

グロリア パトリ / キリエ 式文2ページ
 グロリア 式文3ページ

みことばの部

祝福の挨拶 式文4ページ

主日の祈り

神様。主イエスは、会堂に入り、みことばに聴き、御心をお告げになりました。私たちも、みことばに示された真理を深く悟り、主を仰ぎ、力強く証しすることが出来るよう助けてください。
 救い主、主イエス・キリストによって祈ります。 アーメン

第1朗読日課 ネヘミヤ書 8:1～3, 5～6, 10 (旧約 749 頁)
 第2朗読日課 コリントの信徒への手紙1 12:12～31a (新約 316 頁)
 ハレルヤ唱 式文 5 ページ
 福音書の朗読 ルカによる福音書 4:14～21 (新約 107 頁)
 みことばの歌 ♪170 “主をあがめたたえよ”(1,2節)
 説教 『捕らわれている人に解放を』 北川逸英師
 信仰の告白 ニケア信条 式文6ページ

奉献の部

※ 神への感謝です。ご用意のない方も感謝の心をささげてください。
 祝福の挨拶～奉献(献金)～奉献唱 式文7ページ
 奉献の祈り 式文 8 ページ

聖餐の部

聖餐の歌 ♪260 “主イエス・キリストよ”(1,2,3,4節)
 聖餐の序詞～サンクトゥス～設定 式文9ページ
 主の祈り 式文10ページ
 平和の挨拶～アグヌス・デイ～聖餐への招きと陪餐の感謝 式文11ページ

派遣の部

祝福の挨拶～ヌンク・デミティス 式文13ページ
 教会の祈り 吉田岩雄兄
 祝福 式文14ページ
 終わりの歌 ♪ 320 “しあわせなことよ”(1,2,3,4節)
 後奏

日本ルーテル教団 飯能ルーテル教会

責任教職 笠原光見牧師

〒357-0033 埼玉県飯能市八幡町 20-9

電話/Fax 042-972-5774

教会メール(役員会へ)	nrkhanno1517@gmail.com		
Facebook	www.facebook.com/飯能ルーテル教会		
HP	https://kirakira2020.jp/	牧師メール	

てん かみ えいこう ものがた おおぞら て わざ しめ
天は神の栄光を物語り、大空はみ手の業を示す。

ひる ひる かた つたえ よる よる ち しき おく
昼は昼に語り伝え、夜は夜に知識を送る。

はな かた こえ き
話すことも、語ることもなく、声は聞こえなくても、

その響きは全地に、

その言葉は世界の果てに向かう。

そこに神は太陽の幕屋を設けられた。

たいよう はなむこ てんがい で
太陽は、花婿が天蓋から出るように、

ゆうし よろこ いさ みち はし
勇士が喜び勇んで道を走るように、

てん は い た てん は め ざ い
天の果てを出で立ち、天の果てを目指して行く。

その熱から隠れうるものはない。

しゅ りっぽう かんぜん たましい い かえ
主の律法は完全で、魂 を生き返らせ、

しゅ さだめ しんじつ むち ひと ち え あた
主の定めは真実で、無知な人に知恵を与える。

しゅ めいれい ところ よろこ あた
主の命令はまっすぐで、心に喜びを与え、

しゅ いまし きよ め ひかり あた
主の戒めは清らかで、目に光を与える。

しゅ おそ きよ つづ
主への畏れは清く、いつまでも続き、

主の裁きはまことで、ことごとく正しい。

しゅ さば きん おお じゆんきん のぞ
主の裁きは金にまさり、多くの純金にまさって望ましく、

みつ はち す したた あま
蜜よりも、蜂の巣の滴りよりも甘い。

あなたの僕はそれらのことを熟慮し、

それらを守って大きな報いを受けます。

し おか あやま かく つみ
知らずに犯した過ち、隠れた罪から、

どうかわたしを清めてください。

あなたの僕を驕りから引き離し、支配されないようにしてください。

そうすれば重い背きの罪から清められ、わたしは完全になります。

どうか、わたしの口の言葉がみ旨にかない、心の思いがみ前に置かれま
すように。

しゅ いわ あがな むし
主よ、わたしの岩、わたしの贖い主よ。

てん かみ えいこう ものがた おおぞら て わざ しめ
天は神の栄光を物語り、大空はみ手の業を示す。

ひる ひる かた つたえ よる よる ち しき おく
昼は昼に語り伝え、夜は夜に知識を送る。

はな かた こえ き
話すことも、語ることもなく、声は聞こえなくても、

その響きは全地に、

その言葉は世界の果てに向かう。

そこに神は太陽の幕屋を設けられた。

たいよう はなむこ てんがい で
太陽は、花婿が天蓋から出るように、

ゆうし よろこ いさ みち はし
勇士が喜び勇んで道を走るように、

てん は い た てん は め ざ い
天の果てを出で立ち、天の果てを目指して行く。

その熱から隠れうるものはない。

しゅ りっぽう かんぜん たましい い かえ
主の律法は完全で、魂 を生き返らせ、

しゅ さだめ しんじつ むち ひと ち え あた
主の定めは真実で、無知な人に知恵を与える。

しゅ めいれい ところ よろこ あた
主の命令はまっすぐで、心に喜びを与え、

しゅ いまし きよ め ひかり あた
主の戒めは清らかで、目に光を与える。

しゅ おそ きよ つづ
主への畏れは清く、いつまでも続き、

主の裁きはまことで、ことごとく正しい。

しゅ さば きん おお じゆんきん のぞ
主の裁きは金にまさり、多くの純金にまさって望ましく、

みつ はち す したた あま
蜜よりも、蜂の巣の滴りよりも甘い。

あなたの僕はそれらのことを熟慮し、

それらを守って大きな報いを受けます。

し おか あやま かく つみ
知らずに犯した過ち、隠れた罪から、

どうかわたしを清めてください。

あなたの僕を驕りから引き離し、支配されないようにしてください。

そうすれば重い背きの罪から清められ、わたしは完全になります。

どうか、わたしの口の言葉がみ旨にかない、心の思いがみ前に置かれま
すように。

しゅ いわ あがな むし
主よ、わたしの岩、わたしの贖い主よ。